

まちづくり懇談会を開催

令和4年11月2日から11日にかけて、各地区でまちづくり懇談会を開催しました。その内容についてお知らせいたします。

行政報告関係

今年9月18日に行われた町長選挙で無投票により3期目を迎えることとなり、責任の重さを感じております。公約に掲げました「小さくても持続可能なまち」を実現していくため、「人口減少対策」、「農業の振興」、「子育て環境の整備」、「交流人口の拡大」、「情報発信と収集」につきまして積極的に取組んでまいります。そのような中で、早急に取組んで行かなければならない3点をご報告いたします。

まずは新型コロナウイルス感染症の対策についてです。本町でも10月に59歳から12歳までのワクチン接種が終わり、60歳以上の方を対象に11月18日、19日に集団接種を実施いたしました。

2つ目は生活支援対策についてです。昨今の円安やロシアによるウクライナ侵攻の影響で物価が高騰していることから、町民の生活支援として新たに一人1万円の商品券を配布いたします。

3つ目は、刈田総合病院の問題になります。来年の3月31日に一市二町組合を解散し、4月1日からは白石市による公設民営病院として運営されます。今後それぞれの議会に解散に関する議案を提案し議決していただく必要があります。

ですが、新しい病院として地域の方々の期待に応えられるような医療サービスの提供を私も期待したいと思います。一方で診療所は周辺の総合病院である高富病院、置賜総合病院、藤田病院や中核病院と連携協定を結んでいるため、七ヶ宿町民の受診は積極的に受けて頂くことになっております。今後より連携を深め、住民の皆様の生命と健康を守ることに繋げていきたいと考えております。

七ヶ宿町は、1,300人弱の町ではありますが、スピード感をもって町政運営に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

意見交換

Q イノシシの被害が甚大であるが、柵の設置をしてもらえないのはなぜか。

A 柵の設置は国の事業として町が申請しております。前提として、当該土地に対し耕作が行われていることが条件となっており、残念ながら耕作がされていないため対象外となっていることが理由となります。耕作しない期間が長くなれば野に返りますので、農地を貸付し耕作してもらうなど運用していただきたいと思います。



活性化が目的であります。商品券を利用して、そこで浮いた分を電気代や医療費等に充てていただきたいと思っております。

Q 若い人や女性が集まることのできるまちづくり懇談会を開催してもらえないか。

A なるべく町民の皆様と直接お話しできる場を設け、意見を伺いたいと考えております。テーマを絞った意見交換や少人数の出前講座でも構わないのでそういう機会があればこちらから参りたいと考えております。

Q 休日保育をしてもらえないか。

A 実情を踏まえ考えなくてはいけないと思っております。ご存じのとおり、町では毎年保育士の採用のため募集を行っていますが、全国的に保育士が不足している状況でもあり採用に至っておりません。放課後クラブも休日は休みとなっておりますことから、保

育所と放課後クラブのあり方として利用者のニーズとそこで働く方の勤務形態を考慮した子育て環境の整備を考えてまいります。

Q 町のライブカメラは修理しないのか。

A 3ヶ月ぐらい前から正確な日時の様子が反映されていない不具合を確認しております。これから積雪状況等でご利用も増える時期ですがご不便をお掛けし大変申し訳ございません。修繕には専門的な知識が必要となり、時間を要しておりますのでもう少しお待ちいただきたいと思います。

Q 薪ストーブの貸出、購入に対し支援する考えはないか。

A 薪ストーブの普及につきましては、今後の課題だと思っております。92%を山林が占めている町でありますし、十分考えていかなければと思っております。

Q 豪雪による空き家の被害と除雪ボランティア支援について伺いたい。

A 空き家といえども所有者は自分の財産を守る責任があると思っており、所有者が地区や除雪ボランティアに管理を委託し、そのうえで地区等がどのように対応するのか、また町としてどのような支援があるのか筋道を踏んで進めていくべきだと思っております。また、除雪ボランティアの件ですが、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の関係で外部からボランティアを募集できませんでしたが、町内でボランティア組織を立ち上げ、若い方に参加してもらえ、若い方を考えていきたいと思っております。

Q 地域おこし協力隊の任期後の定住状況について伺いたい。

A 現在隊員は9名おります。内訳は陶芸関係4名、まちづくり関係2名、農業1名、林

